

[PR] カードローン/大手10社一括比較! 24時間ネット申込

憂楽帳

他の連載記事はこ

猫と生きる街

毎日新聞 2017年7月28日 大阪夕刊

めっちゃ関西 >

「もっともっと広げようよ さくらねこ」。大阪市北区の露天神社、通称お初天神西側の商店街に、猫の写真やメッセージを載せたパネルが飾られて2週間になる。「さくらねこ」とは避妊去勢手術を受けた印として、耳の一部をカットされた猫のこと。耳の形が桜の花びらのように見えるため、そう呼ばれている。

飲み屋などが多い繁華街には、えさを求めて野良猫が集まってくる。だが、店にとっては困った事態になることも。排せつ物の臭いや発情期の鳴き声が客の迷惑になるからだ。実際、神社周辺の環境向上を目指す「キタ歓楽街環境浄化推進協議会」には、店からの苦情が殺到していたという。

問題解決に立ち上がったのが、犬猫の殺処分ゼロを目指す公益財団法人「どうぶつ基金」（兵庫県芦屋市）だ。昨年から200匹以上の手術を無料で実施。佐上邦久理事長（57）は「手術することで猫に優しい街に変えていきたい」と話す。現在、悪臭などは激減し、苦情もなくなった。人と猫が共生する場へと生まれ変わりつつある街へ、冷たいビールを飲みに行こうと思う。【倉田陶子】